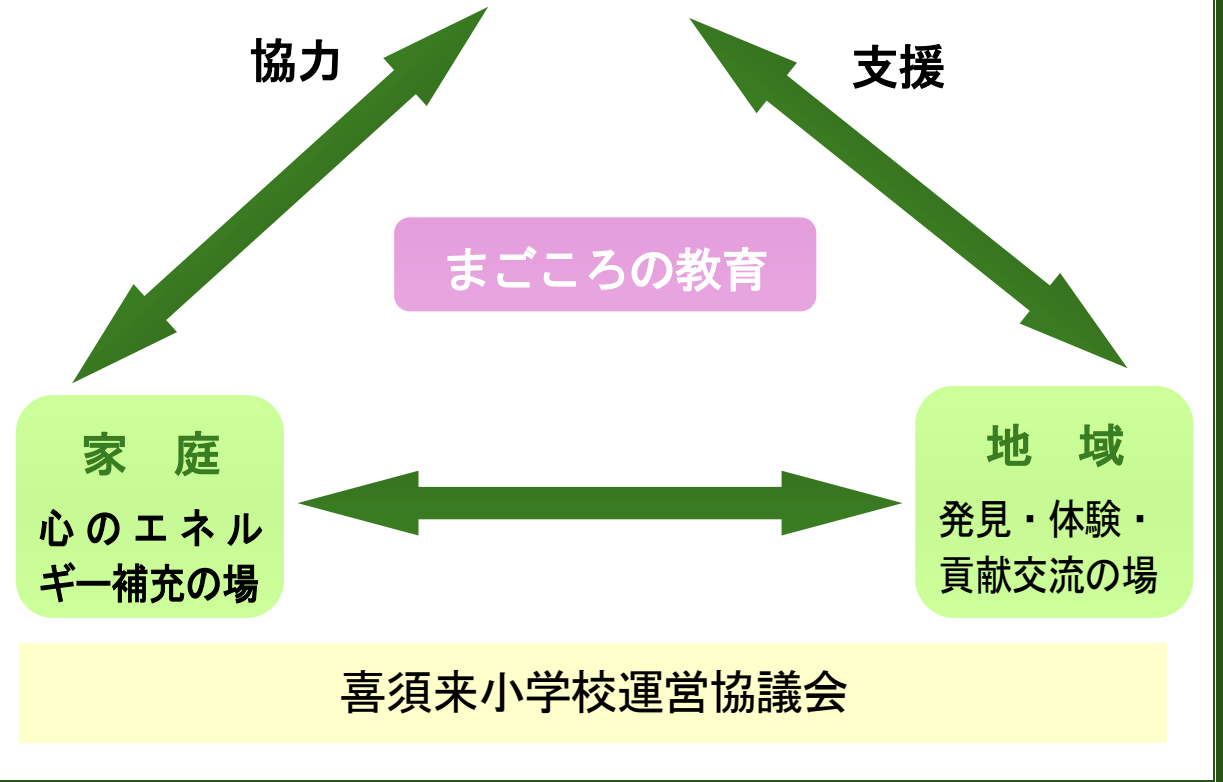
		令和7年度 教育計画 八幡浜市立喜須来小学校				学校番号 032	
校長名	前田 英隆	学級数	9 (3) (通級1)	児童数	124	教職員数	15

学校の教育目標

心豊かに たくましく 自分を表現する子を育てる



ただしく(知)	やさしく(徳)	たくましく(体)
自分の考えを持ち、発表できる子	自分を大切に、相手の立場に立てる子	夢に向かって力強く挑戦する子
確かな学力を身に付けさせます。	思いやりの心を育てます。	粘り強く続ける子を育てます。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎・基本の徹底 ○ 言語活動(表現力)の育成・充実 ・どすこいタイム ○ 1人1台端末を活用した教育の充実 ○ きすきタイムの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援教育の推進 ○ リレーコンサート ○ 運動会・学習発表会 ○ 自然・社会体験活動 ○ ありがとう集会 ○ 五色百人一首 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内持久走大会 ・きすきトライアルの充実 ○ 水泳・陸上・金管 ○ 喜須来っ子まんてんリズム ○ 前田山記念相撲大会
【キャッチフレーズ】 全力つくせ 君が主役だ 喜須来っ子 ～ 共に ～		



<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重点目標</p>	<p>【学校の教育目標】 心豊かに たくましく 自分を表現する子を育てる</p> <p>【基本方針】 『全力つくせ 君が主役だ 喜須来っ子』 ～共に～ を合言葉に、自分の考えをしっかりと持ち表現する力、他人の立場を理解しながら自分自身も大切に作る子どもたちを育てる。心も体も元気で、自信を持って行動できる子どもたちの育成を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 まごころの教育をベースとし、他人のよろこびや悲しみを分かり、共感できる子を育てるために、学校と家庭と地域が共に自分を大切に作る子どもを育てていく。 2 たくましい体と心を育てるために、子ども一人ひとりの違いに応じて、すべての子どもが価値ある体験を共にし、その喜びを感じられるような指導の工夫を、学校全体で創り出していく。 3 「おはようございます」のあいさつから始まり、自分の考えや感情を適切に表現できる子を学校・家庭・地域で共に育てていく。 <p>【経営の重点】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 特別支援教育に重点を置き、人権意識を高める活動を通じて、全員が尊重される学校環境を整える。 (2) 地域の資源を活用し、児童が実生活で役立つ「生きる力」を身につける創造的な教育課程の編成、実施に努める。 (3) 基本的な学力の定着とともに、学ぶ意欲や自分で問題を見つけて解決する力を伸ばすための教育を充実させる。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">管理運営</p>	<p>【人的管理】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 仕事の状況や情熱に合わせた働き方改革の意識を高める中で、関わる者が互いに優しく支え合おうとする人的環境づくりに努める。 (2) 教育公務員として、自らの職務に自覚を持って遂行する精神を培う。 (3) 自然災害等に対して適切な対応ができる危機管理意識を高める。 <p>【物的管理】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 危機管理マニュアルを整備・改善し、危機管理体制の確立を図る。 (2) 安全な環境づくりに努めるとともに、環境の美化に努める。 (3) 学校安全に留意し、災害・盗難等の事故防止に万全を期する。 <p>【事務管理】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 校務分掌の適正化を図り、機能的な連絡・処理に努める。 (2) 著作権法や個人情報等の厳正な管理や公文書・諸帳簿の適切な整理と保管に努める。 (3) 予算の適切な執行を行い、諸会計の厳正な出納と管理に努める。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">本校教育の特色</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 素直に自分の気持ちを表し、自分のペースで成長することを支える「まごころの教育」の実践に努める。 (2) 本校出身で大相撲第 39 代横綱前田山英五郎の功績を讃えるとともに、次の世代を担う喜須来っ子が夢に向かって力強く挑戦することを願って「前田山記念すもう大会」を開催している。勝った子には品格と思いやりを、負けた子には悔しさをばねに伸びていこうとする気持ちが育つよう、児童一人ひとりのドラマに目を向けた指導を行っている。